

伊勢市観光振興基本計画推進委員会 平成 29 年度 第五回会議

日時：平成 29 年 11 月 29 日（水）午後 2 時～4 時

場所：伊勢市御薗総合支所 会議室 2-4

出席者（敬称略）

- ：委員 富本（委員長）、中村（副委員長）、松本、南、三村、岡田、小崎、
増田、前田、山本武士、山本直子、高橋
【欠席】三浦、江崎、音羽、堀、奥田
- ：事務局 須崎、東世古、小林、中村洋、湯浅（以上、伊勢市役所）
高田、江藤（以上、アルパック）

1. 開会

- ・委員長のあいさつ
- ・新しい委員の紹介

2. 前回のふりかえり

- ・（資料 1 説明）

3. 協議事項

（1）計画案について

- ・（資料 2、3、4、5 説明）

以下の意見をもとに事務局で素案を修正し、委員へ案を送付する（議決）

（⇒：事務局発言、○：委員発言）

①「常若の精神」の考え方について

⇒前回の会議で「常若の精神」について 2 つの意見があったため、今回の会議で考え方を決めたい。

- 「常若」は問題ないと思うが、「進化」という言葉に違和感がある。まちが進化するとはどういうものか。サルが人間に進化するとはいうが、まちは進化するのか。違う言葉のほうが良いのではないか。生物学的には、進化は新しいものが生まれていくイメージがある。まちは変わるものではない。
- 古くて新しい、古いけれども新しいまちというのが常若の精神を表しているのではないか。進化を使うよりは、そのほうが伊勢には相応しい。
- 常若は神宮が昔から使っているのではなく、河合真如さんが広報担当の時に、遷宮を語る上で常若という言葉を使い始めたものだ。今や常若婚やとわか国体があり、色々な人が色々な考えで使っている。不易流行や温故知新と違いがない。

⇒現行計画で「進化」を使ったのは、変えるべきところは変えるが、変えないものは変えないという意味である。遷宮のやり方は変わらないが、時代の進化にあわせて建てる際に

クレーンを使うなど変えている部分もある。

- まち全体というより市民の精神である。常に若々しく、美しく生きていこうという言葉は河合さんが使っており、市民が心に持ってほしい。人は年を取るが、次の朝になったらまた新しく、美しく生きていこうとすることではないか。
- 常若の精神を、ページの下キーワード紹介で説明しているが、違和感があるため変更したほうが良い。
- 常若の精神を詳らかにしたものはあるのか。ひとり歩きされると怖い。
- 現行計画では、文章の後に「思い」というのが付いていたが、それを取ったためによく分からなくなってしまった。キーワード紹介が文脈に合っていないので、尚更違和感がある。
- 式年遷宮というのは20年に一度繰り返すことで、古と今と未来が永遠につながるものであり、若々しく瑞々しく美しく生きること、その精神を子孫に伝えていきたいという想いであり、そのようなことを入れてはどうか。
- 「若々しく瑞々しいまち」は、昔の文化をしまっておくのではなく、いつも生きた形でまちを作っていくという意味にすれば、広い範囲で活かせると思う。

○ありたい姿は「常若（とこわか）の精神を未来へ受け継ぎ、若々しく瑞々（みずみず）しいまち」とする。（議決）

○キーワード紹介は今までご意見いただいたものを踏まえて事務局でまとめる。（議決）

②目標値の考え方について

【神宮参拝者数】

- とても勇氣ある数字を出してもらっているが、リアルな数字が必要ではないか。おほらい町はキャパオーバーであり、右肩上がりよりも横ばいのほうが、本当の意味での満足度は上がる。遷宮時から入込客数は減っており、これから勝負である。
- 参拝者数については、内宮と外宮を分け、外宮をどう上げるかを考えたほうが良い。全体を見るとよく分からない。
- ⇒両宮で分けても良い。例えば内宮は横ばいにして、外宮は増加することも考えられる。ただし、来年度はインターハイがあり、またインバウンドの影響もあるだろう。
- 通常、内宮は下がり、御木曳行事が始まる頃から増えてくる。しかし、今年の参拝客数は、前半は菓子博があったので好調だったが、後半は落ち込んでいるのではないか。
- 前年対比はしづらい、最近では毎年特別なイベントがある。
- ⇒インターハイは、下見や子どもの応援に親が来るため、観光効果が見込める。飲食への影響はかなり大きい。
- 一極集中ではないほうが良い。周遊させるべきだ。
- お参りを深くするためには、襖を新しいコンテンツとして、周遊ルートに入れていくことをしないと、伊勢の滞在時間は増えない。外宮参道で1～2時間滞在するよりも、二見へ行ったほうが良い。
- 二見から周るというのは正式なルートというより習わしだ。

○入込客数は内宮と外宮で分けて、内宮は横ばい、外宮はやや上げていく方向とする。

合計は案のとおり増加するようにする。(議決)

【外宮参道通行量】

- 外宮参道の通行量は少ないのではないかと。調査は2月か3月の寒い時期にやっている。
- ⇒事務局資料で、通行量の推移があるが、H25の遷宮時には11,300人ほど通行しており、かつての10倍ほどになっている。
- ⇒外宮参道では第62回神宮式年遷宮時に40店舗ほど改装しており、その効果がある。
- 最近では三交インの周辺で新店舗ラッシュが続いており、新道まで広がると良い。
- 最近では外宮の駐車場から伊勢市駅側へ観光客が逆流する流れもある。

【外国人案内件数】

- 観光案内所の外国人案内件数はどうか。外国人もSNS等で調べることが出来るため、案内所を使わない外国人もいる。目安程度と考えた方がいい。
- ⇒市内5箇所の案内所は市が運営しており、JNTOの認定も受けた。今後、利用客が増加して欲しい希望もあるが、確かに増えれば良い訳ではない。
- ⇒神宮外国人参拝者数は外国人のすべてを集計できていない現状がある。
- ⇒外国人観光客数を調査する方法が難しい。アンケートも実施しているが、サンプル数もある程度確保しないと分析できない。
- ⇒宿泊客のうち、外国人数を提供してくれる宿泊施設もあるが、全ての宿泊施設から提供してもらっている訳ではない。
- ⇒絶対的な数値は出ない中で、確からしい程度の数値にしたい。
- 賓日館では、チケット購入時に外国人かどうかは分かる。5年間の毎月のデータ蓄積もある。ただし、施設の特徴があり、アジア人は少ないと言ったことがある。チケット購入する施設は、外国人数を把握している可能性がある。

③アドバイザーのご意見について

アドバイザーの方から計画素案に対しご意見をいただいた。素案に対する意見は今回の計画策定の参考にさせていただき、具体的な取り組みのご提案は今後の事業の推進の参考とさせていただく。

4. その他

- ・(資料6 説明)
- ・素案について、外国人の受け入れ環境の整備に加え、誘客戦略も次回までに追加する。
- ・目標指標のH29確定値で把握できているところは事務局で入れ込む。その他細々したところは修正する。その後、内部的な共有を進め、1月末頃からパブリックコメントを行う。
- ・第6回会議は3月5日(月)14時～16時とする。
- ・第7回会議は3月26日(月)又は29日(木)とする(欠席委員の日程を調整)。
- ・第7回会議の後には、検証会議も開催予定。
- ・資料3についてご意見があれば、早めに連絡してほしい。

5. 閉会